

国際シンポジウム

今、心理職に求められていること

-医療現場で役立つ専門職モデルの確立に向けて-

シンポジウム開催の趣旨

東京大学大学院・臨床心理学コース 下山晴彦

近年、医療領域における心理職の活動に対する社会的ニーズが高まってきています。単に精神科医療に止まらず、癌などの重病の患者や家族の心理的ケアや病気の予防などの保健活動においても心理職の関与が必要とされています。これと関連して、心理職の国家資格化も議論されています。今後の臨床心理学の発展を考えるならば、国家資格化にとどまらず、そのような資格を支える新たな専門職モデルの確立が急務となっているといえます。

心理職がこのような社会的ニーズに応じて専門職モデルを確立するために何が必要なのでしょうか。そのために日本の臨床心理学は、どのような課題を達成していかなければならないのでしょうか。

既に欧米では生物-心理-社会モデルに基づき、医療職、看護職、心理職、福祉職、行政職などが多職種チームを形成し、それぞれの職種が専門的役割をとりながら協働して総合的に問題に対応しています。日本においてもこのような多職種によるチーム医療が強く求められるようになってきているといえるでしょう。しかし、日本の臨床心理学にあっては、教育領域を中心に発展してきたために医療領域で他職と協働するための心理職の教育訓練が進んでいないのが現状です。

そこで東京大学の下山研究室では、文部科学省の科学研究費補助金（基盤研究B：課題番号19330153／期間：2007－2009年）による「医療領域における臨床心理研修プログラムの開発・評価研究」を実施し、心理職が医療現場で役立つ専門職になるために何が必要であるのか、どのような研修プログラムが必要であるのかについて研究してきました。

本シンポジウムは、その研究成果を報告し、医療に関わる専門職の方々の意見をいただき、資格化の議論に加えて社会的役割の観点から心理職はどのようにあるべきかを検討することを目的としたものです。

シンポジウムでご発言をいただく方のご紹介

幸いチーム医療が進んでいる英国の前臨床心理学会会長であるターピン教授に基調講演をお願いできました。また、精神科病院協会の鮫島会長や林理事、精神神経学会の心理技術者資格検討委員会の佐藤委員長に登壇していただき、心理職の国家資格化との関連も含めて大所高所からのご意見をいただくこととなります。

医療現場で働く心理職として藤森臨床心理士、さらに臨床心理士資格認定協会の大塚専務理事や臨床心理士会の村瀬会長にもご登壇いただけることになっています。このような専門職に加えて

行政の立場から精神医療制度の策定と深く関わっておられる厚生労働省の福田精神・障害保健課長からも最新情報を伺えることになりました。

臨床心理士をはじめ、心理職の活動の発展に関心をもたれている、多くの方々の参加を期待しております。

開催後に公開された資料

プログラム

日時：

2010年3月28日（日曜） 午後1時－午後6時

会場：

東京大学（本郷）安田講堂（同時通訳付）
午前11時30分開場

主催：

東京大学大学院・教育学研究科・臨床心理学コース下山研究室
「医療領域における臨床心理研修プログラムの開発・評価研究」研究班

共催：

東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース

後援：

（財）日本臨床心理士資格認定協会／（社）日本臨床心理士会

研究科長挨拶：

武藤芳照 東京大学大学院教育学研究科長

司会：

高橋美保 東京大学大学院 臨床心理学コース専任講師

第一部 研究成果報告

午後1時10分－2時00分

研究への期待

鮫島健

（社）日本精神科病院協会会長

大塚義孝

（財）日本臨床心理士資格認定協会専務理事

研究報告

日本の臨床心理学の現状と課題

－医療現場の多職種チームに参加するために－

下山晴彦

東京大学大学院・臨床心理学コース教授

第二部 招待講演

午後2時－2時50分

医療における心理的支援を役立つものにするために-英国の心理職の役割と訓練から言えること-

Graham Turpin 英国シェフィールド大学教授

(英国臨床心理学会・前会長)

休憩・音楽演奏：

午後2時 50分－3時10分

第三部 シンポジウム 心理職への期待と要望：

午後3時10分－4時50分

心理職としての経験から

藤森麻衣子

国立がんセンター臨床心理士

精神科病院の現場から

林道彦

朝倉記念病院理事長

心理職の資格化の観点から

佐藤忠彦

桜ヶ丘記念病院理事長

精神保健行政の立場から

福田祐典

厚生労働省精神・障害保健課課長

第四部 第4部 ディスカッション:心理職の新たな発展に向けて

午後4時50分－5時55分

指定討論：日本の心理職の課題と展望

村瀬嘉代子

北翔大学教授

(社)日本臨床心理士会会長

総括討論 医療と協働する専門職モデルの確立に向けて

下山(司会)、Turpin教授、シンポジスト、村瀬教授

閉会の辞：

下山晴彦